

7 タイキエイワンの20年産 牝

父：デクラレーションオブウォー (USA) 母の父：フサイチコンコルド

2020年4月18日生 (鹿毛) 栗東・辻野泰之厩舎 入厩予定

生産：(有)ビクトリーホースランチ 繋養牧場：(有)ビクトリーホースランチ

全400口 総額1,400万円／一口出資金35,000円／月々の維持費 1,750円／1口



デクラレーションオブウォー (USA) 鹿毛 2009年	War Front (USA) 鹿毛 2002年	Danzig (USA)
		Starry Dreamer (USA)
タイキエイワン 黒鹿毛 2007年	Tempo West (USA) 栗毛 1999年	Rahy (USA)
		Tempo (USA)
タイキエイワン 黒鹿毛 2007年	フサイチコンコルド 鹿毛 1993年	Caerleon (USA)
		パレークイーン (IRE)
	ヤエノジョオー 栗毛 1990年	Cure the Blues (USA)
		リンクスオブゴールド (USA)

Northern Dancer S4×M5×M5 Nijinsky M4×S5

Family Line

母 タイキエイワン

3勝。本馬は第6仔

タイキメサイア：2勝、現役

ブラックフェアリー：[東海]2勝、[南関東]入着7回

タイキワンダラス：[東海]6勝、[北海道]3勝、[兵庫]入着

アヴォロンティ：出走、現役

祖母 ヤエノジョオー

7勝。シーサイドS (Jpn3) 2着、タイムス杯 (OP)、
タイムス杯 (OP) 2着、コーラルS (OP) 3着、
シーサイドOP (OP) 3着

マイオトメ：2勝

ゼンノテキラー：1勝、[東海]12勝、[南関東]入着

タイキパーシヴァル：5勝

曾祖母 リンクスオブゴールド (USA)

4勝。

ヤエノリリー：3勝

リンクスオブタイム：5勝

タイキバラード：出走

タイキダイヤモンド：3勝

タイキラナキラ：出走

シーオブドリームス：1勝 オキザリス賞2着

ヤマケイコー：2勝

[6代母 孫]

Diamond Shoal (GB)：10勝

サンクルー大賞 (G1)、バーデン大賞 (G1)

Distinction (IRE)：8勝

グッドウッドC (G2)、アスコットGC (G1) 2着

Broodmare Sire

母の父 フサイチコンコルド

1993年生 鹿毛 早来産

【競走成績】

5戦3勝 日本ダービー (G1)、すみれS (OP)、菊花賞 (G1) 3着

【母の父として】

ジョーカブチーノ：NHKマイルC (G1)、シルクロードS (G3)、
ファルコンS (G3)

オースミイチバン：兵庫CS (JPN2)、ダイオライト記念 (JPN2)

ウキヨノカゼ：キーンランドC (G3)、クイーンC (G3)

TRAINER 辻野泰之 調教師 (栗東)

1981年8月29日生 大阪府出身

2021年開業 JRA通算8勝

※成績は2021年6月22日現在

【主な管理馬】

キセキ：菊花賞 (G1)

ブラックムーン：京都金杯 (G3)

ワイドファラオ：かしわ記念 (G1)、ユニコーンS (G3)

Sire

父 デクラレーションオブウォー (USA)

2009年生 鹿毛 米国産

【競走成績】

13戦7勝

ヨークインターナショナルS (G1)、クイーンアンS (G1)、
愛ダイヤモンドS (G3)、エクリプスS (G1) 2着

【直近2年の種付頭数】

2019年152頭、2020年134頭

【代表産駒】

Decorated Invader (USA)：サマーS (G1)

Fire At Will (USA)：BCジュヴェナイルターフ (G1)

Gufo (USA)：ベルモントダービー (G1)



©JBBA

(有)大樹ファーム 荻野豊代表のコメント

「赤みがかった鹿毛の美しい毛並みを纏いたるはタイキエイワンの20年産。2015年産のタイキメサイアから、長らく募集馬ラインナップに名を連ねたタイキエイワンの仔も、本馬が最後の募集産駒となります。母の産駒は前後の均衡が整っていて、スラッとしたタイプに出る傾向が強かったですが、本馬は隆々と逞しい肩回りと、大きく丸みを帯び、かつ幅のあるトモが特徴的で、全体的に筋肉質な印象を抱かせる馬ですね。現時点でも430kg超の十分な馬体重がありながら、背中から腰にかけてせり上がるようなラインで、かなりの腰高な様子からも、今後さらに大きなフレームを手に入れることはほぼ間違いなく、文字通りの意味も含めて、これまでとは毛色の違う仔だと感じています。性格は比較的温厚で、放牧地では自然と他の馬が集まるような、頼れるボスのなポジションの馬でした。走り出すとしなやかさが際立ち、トモを大きく踏み込んでグンッと力強く加速していきます。背中への伸びが秀逸ですね。タイキトゥインクルのデルニエエトワール、ニチドウルチルのタイキドミニオン、タイキラナキラのシーオブドリームス、選ればヤエノジョオーのタイキパーシヴァルなど、最後の募集産駒というものは、とにかく不思議な後押しを得るものです。本馬もその例に倣う気がしてなりません。」